

がわにし

広報かわにし

No.541

平成15年9月10日

天神ばやしの新しい扉
開いた!



特集 天神ばやし 新たな世界へ…2
真剣に考えよう合併について…4
あなたの話題・わたしのニュース…16
まちの話題 TOPICS…18

人口の動き
— 9月1日現在 —
男 3,985 (−11)
女 4,056 (−2)
計 8,041 (−13)
世帯数 2,277 (±0)
() は前月比較

特集 天神ばやし 新たな世界へ

「天神ばやしワールド2」が盛大に開催されました。伝統的な祝い唄ですが、ムラが変われば歌いも変わるといわれるほど地域によって歌い方が微妙に違います。二年前の第一回天神ばやしワールドでは、その微妙な違いを楽しむ地元型の催しになりましたが、今回は、天神ばやしのルーツと広がり、そして新しい試みも加わりました。その内容と今後の展望を追ってみました。



時を追うごとに観客が増えました

広く深い 天神ばやしの世界

八月二日、ナカゴグリーンパークで約一、八〇〇人が参加して「天神ばやしワールド2」(越前妻有大地の芸術祭市町村イベント)が開催されました。

ルーツが千葉県にあることも分かりました。今回はこれを受けて、天神ばやしのルーツと広がりを確認する意味から圏域外、県外からも出演者を招きました。発祥の地といわれる千葉県香取神宮、伝播の経路上にある長野県木島平村、伝承の北限といわれる長岡

前回、平成十三年八月に実施された第一回では、川西町を中心とする周辺地域で歌い継がれている各地の天神ばやしを披露しあうという趣旨で、五市町村から一六団体が出演して大きな話題を呼びました。

また、妻有地域を中心とする限定される地域でだけ歌い継がれていると思われていた天神ばやし、とても広い範囲に伝播しており、そのルーツが千葉県にあることも分かりました。

市蓬平地区からの参加者は、それぞれ伝承されている歌と舞を披露し、全体として、天神ばやしの普遍性や多様性を感じさせるものとなりました。

香取神宮は天神ばやしのふるさと

千葉県佐原市にある香取神宮は、経津主大神を祭神とし、創建を神話の世界にまでさかのぼるといふ由緒あるもの。現在の伽藍は元禄十三年(一七〇〇)に徳川綱吉により造営されたもので、国の重要文化財に指定されています。

その香取神宮で、毎年四月に行われていた「御田植祭」で歌われる田植唄が天神ばやしのルーツといわれています。こ



ルーツといわれる香取神宮の田植唄

の御田植祭は、明德二年(一三九一)という今から六〇〇年以上も前の記録に記されている歴史のあるもので、伊勢神宮、住吉大社と並んで日本三大田植祭と呼ばれています。

今回は、香取神宮の神官と歌い手、早乙女の一行八人が神事の儀式を披露しました。曲はこの地域に伝承されているものとは異なっています。曲は「めでたいものは、芋の種、くさ長く、葉広く、子をふやす」という、この地域のもので同意のものが含まれています。

また、雅楽に合わせ華やかな衣装に身を包んで歌い踊る様子は、ルーツの「神事唄」にふさわしい雰囲気をももたらしています。

木島平は貴重な 労作唄伝承地

長野県木島平村では、田植機が普及する前、親戚や隣近所で「結い」によって何日も共同作業で田植えをしました。そのときに、必ずといっていいほど歌われたのが「田植唄」で、のど自慢の誰かがごく自然に歌い出すものだったといえます。唄の起源についての伝承はなく、古くから歌われているとだけいわれています。

今回の催しのために、村内の経験者が集まって「田植唄の会」

を組織して出演しました。この唄も、節回しは当地域のものとは異なります。

「めでたいものは、大根種、花が咲きそろうて…」という歌詞は共通していました。

この田植え唄は素朴な作業唄で、「神事唄」(香取神宮)↓「労作唄」(木島平)↓「祝い唄」(当地方)という変遷・伝播の過程を考えるうえで貴重なものといえるでしょう。

蓬平では祝いの事の最後に歌う

伝承の北限といわれる長岡市蓬平地区に伝わる「天神ばやし」は、当地方に伝わるものと歌詞、曲ともに共通するところが多く、「同じ流れ」ということがすぐとにわかります。

蓬平地区では、三〇〇年以上前から歌わ



迫力あふれる蓬平の音唄



今回のために結成された木島平村の「田植唄の会」

れているといわれ、小正月の「さいの神」行事や祝い事の席で歌われています。面白いのは、当地方では天神ばやしを「声(肥) ちらかし」ともいい、祝いの事の最初に歌うのに対して、蓬平地区では終わりに歌うというところ。唄は同じでも、習慣は違うというところが地域伝承の妙というところでしょうか。

正調と創作が一体化

こうした、遠方の唄のほか、地元天神ばやしも披露されました。



いつも元気！仙田子ども樽太鼓



正調を聴くと、やはり身が引き締まります(元町)



いつも聴く人の心をとらえる白倉の唱和

あがつていまして。がちょうの会による「混声四部合唱」は、コーラスによる天神ばやしという試みが斬新で歌声が心地よく響き、観客を魅了していました。

し、二か月以上にわたって稽古を積んだ子供から大人まで総勢一〇人が、幻想的な歌と踊りの世界を展開しました。人や動物の楽しいキャラクターの仮面を付けた踊り手が観客席から現れ、会場全体を使って力強く歌い踊る世界はおとぎの国のような雰囲気を作り出し、会場全体



子どもからお年寄りまで一体となった沖立の天神ばやし

感動を呼ぶ Gottaku!!
さきま
まな天神ばやしの競演が行われた中で、今回の催しの最大の色ともいえる「天



ユーモラスであっただかいキャラクターが踊ります

神ばやしかわにし Gottaku!!」がファイナレを飾りました。これは、今までとは全く違った観点から天神ばやしをとらえ、世代や地域を越えて大勢の住民が歌い踊られる新しい「天神ばやし」を



円熟味を増したがちょうの会のコーラス

発祥させ、川西町から発信しているという趣旨で作されました。曲と振付を専門家に依頼して創作



「かわにし Gottaku!!」はいきなり観客席から始まりました

歌い継ぐ天神ばやしの心

を感動の渦に巻き込みました。

今回の催しには、出演した参加者はもちろん、屋台を出店したグループや、衣装・道具づくり、会場運営を支えた多くのボランティアスタッフがの力が結集されています。こうした人のつながりは一朝夕に生まれるものではなく、日常のつきあいや、イベントなどによる協働作業の積み重ねで築かれるものです。そうした点も、地域の「結い」



屋台村も大にぎわい

で歌い継がれてきた「天神ばやし」の心にながっているのかもしれない。主催者である町



踊りを終えてバンザイ！

ルーツと広がり、そして新しい試みが同居した「天神ばやしワールド2」の試みは、天神ばやしという伝統の歌をとおして地域を見つめ、新しい文化と感動をつないでいこうという思いを、人々の心の中に植え付けたようです。次なる天神ばやしワールドでは、どんな世界を見せてくれるのでしょうか。

としても、「天神ばやし」かわにし Gottaku!!」が集落のお祭りなどで発表されるなど、広がりが出てきてありがたいと思っています。新しいものとともに、伝統的な天神ばやしや、子どもや女性からも口ずさまれながら継承されていってほしいですね(まちづくり推進課)と今後の展開に期待を寄せています。

真剣に考えよう 合併について

その二十三



合併任意協議会もいよいよ大詰めを迎えています。構成五市町村の持ち回りで開催されている協議会が、今月二日に川西町で二回目の開催となりました。

また、今回の協議会では、合併した場合の新市のまちづくりの方針を示す、「新市将来構想(案)」の答申を受け、協議会で決定されました。あわせて、新市の名称案の公募も今月下旬から始まり、事務事業の調整についても回を重ねるにつれ、住民生活に直接関係する項目の協議が進められています。

今年十二月には、合併か、自立かの判断を住民の皆様とともに、誤りなく決断しなければなりません。真剣に考えましょう合併について！

「新市将来構想」を決定

検討委からの答申を受け

九月二日、第八回合併任意協議会の席上、新市将来構想検討委員会(委員二十五人)の高津富士男委員長(川西町寺ヶ崎)から合併任意協議会長(山本中里村長)に、一〇回の会議を重ねてまとめられた「新市将来構想(案)」が答申され、同協議会の審議を経て、五市町村が合併し新市となった場合の「新市将来構想」が定められました。



山本会長に答申書を渡す高津委員長

新市将来構想検討委員会

合併任意協議会の諮問委員会として、本年二月二十六日に委員二十五人(構成市町村五人ずつ)で組織され、合併した場合の新市づくりについて、二つの部会に分かれ、今回の合併任意協議会で承認された「新市将来構想」策定の作業をしました。

新市将来構想の概要

構成五市町村が合併した場合に、新市としてのまちづくりを進めていくには、十年先、二十年先を見据えた視点が必要です。

そこで、「夢を耕しつづける感動と創造のまちづくり」という基本理念などの方針を掲げ、構成五市町村の全ての住民の皆様が共通の認識を持って、課題を克服しながら新市のまちづくりに取り組みむ目標となるものです。

新市将来構想の構成

『新市将来構想』について、将来の方向性を示す「基本理念」、「将来像」及び「基本目標」などや、その目標を達成するための「施策」を相互関係として

整理すると、次ページの図1のようになります。

第六回合併任意協議会(六月二十七日開催)での中間報告のあと、八月十二日に十日町市民会館で開催された、協議会委員と新市将来構想検討委員との「新市将来構想中間合同説明会・意見交換会」を経て、六つの基本目標を達成するための施策として、「分野別施策の方針」、「地域別施策の方針」及び「戦略プロジェクト」が新たに発表されました。

川西町は環境を優先した地域に！

合併した場合の新市全体で取り組む「分野別施策の方針」は、六つの基本目標をより細分化して、具体的に設定しています。

川西町(地域)の施策の方針

川西町は、地域全体で「恵み豊かな農村環境で生き生きと暮せる町(エコタウン構想)」をめざし、あらゆる分野で「環境」を優先した地域づくりが始められています。また、「賑わい空間創出事業」を契機として、交流人口の拡大や農業と商業の連携への取り組みや、相互扶助の



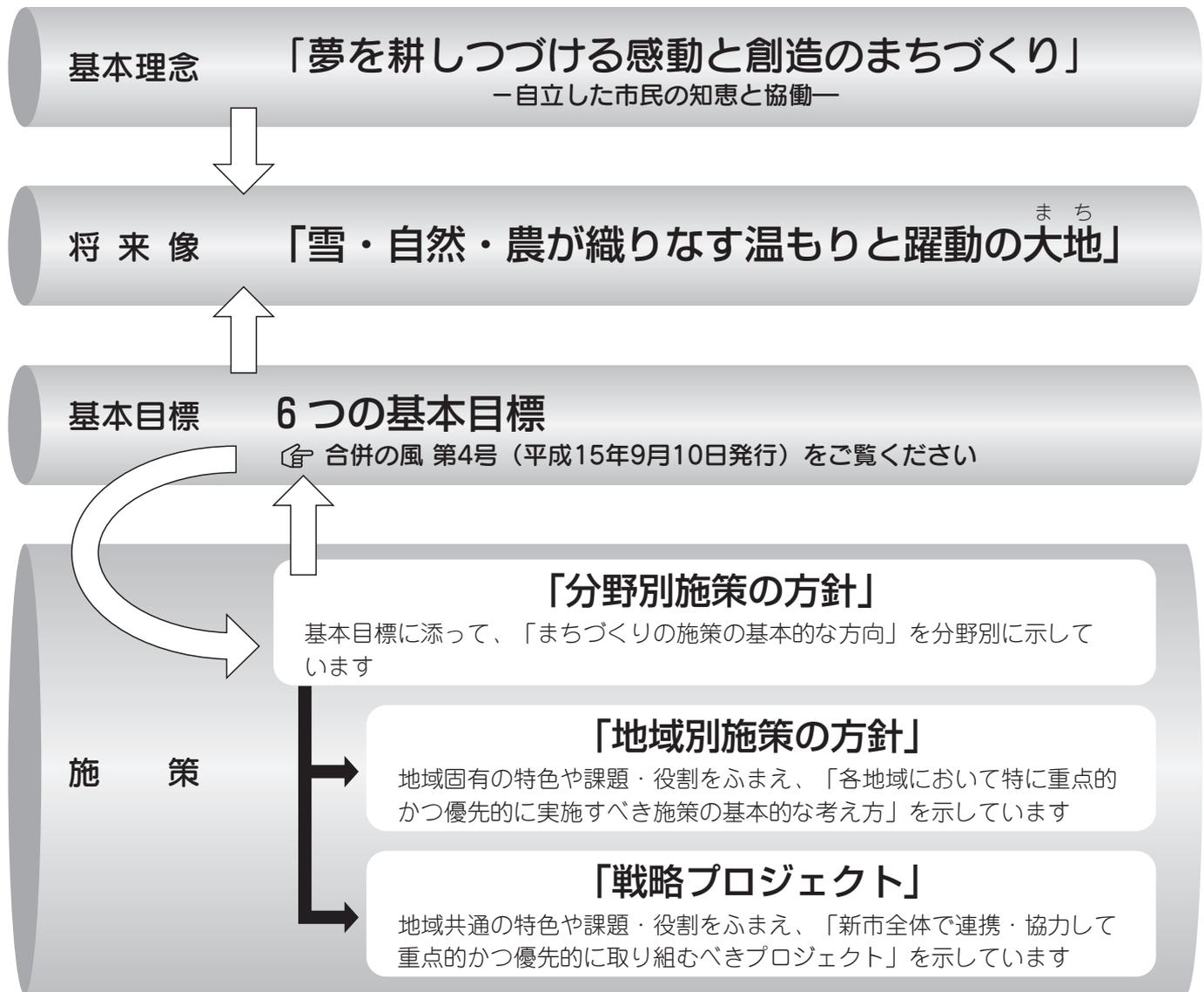
検討の成果について熱心に討論しました(8月12日 中間合同説明会・意見交換会)

気持ちを大切に、約三〇ものボランティア団体による活動が展開されている地域に位置づけられました。

そこで、川西町(地域)の新市における位置付け、役割りとしての主たる方向には、「住民と地域、企業等の連携」により、「人と自然との共生」や、「安心・安全な生活」に配慮した取り組みを進めるため、次の方針が示されました。

- ① 環境と調和した産業の振興と自然豊かな居住空間の整備

図1 基本理念・将来像・基本目標と施策の相互関係



この三点についての詳細は、「分野別の施策の方針」及び将来像を実現するうえで特に波及効果の高い「戦略プロジェクト」とあわせて、合併の風／第四号に掲載しましたのでご覧ください。

② 農業と商業の連携の強化

③ 地域の相互扶助の推進

八月二十五日、川西市町村合併問題検討委員会（藤巻義明会長、委員二〇人）の第六回の会議が開催されました。

今回は、合任意協議会で策定が進められている『新市将来構想』の中の「地域別施策の方針」と「戦略プロジェクト」の内容について検討を行いました。

討論では、「旧市町村の枠にこだわり過ぎている」、「市町村ごとに駆け引きがあるのでは」、「文書としてまとめると検討の過程で出された様々な意見が表面に出てこない。しかし、合併

かわにし合併物語

検討結果（中間報告）を町長に提出

川西町合併検討委員会から



田口町長に中間報告書を手渡す藤巻委員長(左)

の判断までは、それらの内容を伝える必要があるのでは」などの意見が出されました。

委員会では、これまで『新市将来構想』を中心に検討してきましたが、新市将来構想検討委員会から合任意協議会へ答申が出されることを受けて、これまでの検討結果を中間報告としてまとめ、翌二十六日に藤巻委員長から田口町長に中間報告が行われました。

中間報告書では、検討事項やこれまでの検討経過のほか、「川西町から選出されている合任意協議会委員や新市将来構想検討委員が、川西町の代表として発言する一助となる取組みを行ってきたこと」、「今後も新市建設計画や地域自治組織について、継続して検討する予定であることを」などを検討結果として報告しています。

中間報告書では、検討事項やこれまでの検討経過のほか、「川西町から選出されている合任意協議会委員や新市将来構想検討委員が、川西町の代表として発言する一助となる取組みを行ってきたこと」、「今後も新市建設計画や地域自治組織について、継続して検討する予定であることを」などを検討結果として報告しています。

の判断までは、それらの内容を伝える必要があるのでは」などの意見が出されました。

委員会では、これまで『新市将来構想』を中心に検討してきましたが、新市将来構想検討委員会から合任意協議会へ答申が出されることを受けて、これまでの検討結果を中間報告としてまとめ、翌二十六日に藤巻委員長から田口町長に中間報告が行われました。

中間報告書では、検討事項やこれまでの検討経過のほか、「川西町から選出されている合任意協議会委員や新市将来構想検討委員が、川西町の代表として発言する一助となる取組みを行ってきたこと」、「今後も新市建設計画や地域自治組織について、継続して検討する予定であることを」などを検討結果として報告しています。

検討結果が答申に反映 されました！

本年三月に設置された、川西町市町村合併問題検討委員会は、限られた時間の中で、五市町村での新市将来構想策定と歩調を合わせながら、検討を進めてきました。

その結果、新市将来構想(案)中の「川西地域の施策の方針」には、川西町は『地域全体で恵み豊かな農村環境で生き生きと暮せる町(エコタウン構想)をめぐらし、環境を優先した地域づくりをしていくこと。』また、

『環境と調和した産業の振興と自然豊かな居住空間の整備』という他の地域にはない、川西町らしい特色を持った地域づくりを進める方針が補強されました。

××××××××××××××××××

川西町は自立できるか？

役場では、十月下旬から開催予定の「市町村合併住民懇談会」に向けて、住民の皆様へ合併の判断資料としてお配りする資料の作成に着手しています。

川西町が仮に自立を選択した場合に、数年後の財政運営が成り立つかどうかは、大変重要な問題であり、住民の皆様も興味深い項目であると思います。

今月二日の合併任意協議会では、合併した場合の財政見通しについて報告されましたが、川西町では自立した場合の調査を行い比較検討する予定です。

今後の小規模町村のあり方や地方交付税の動向などが不明確な中で、秋の住民懇談会に間に合うよう取り組めます。



川西町らしさを残すため夜遅くまで検討しました

こちら合併任意協議会

新市の名称案を公募します

構成五市町村が合併するとした場合の、新市の名称としてふさわしい名称案を広く募集します。

なお、公募は個々の名称案ごとの数を競うものではないことから、名称案別の応募数については公表されません。

■応募資格

どなたでも応募できます。

■応募期間

平成十五年九月二十四日(水) から平成十五年十月二十六日(日) まで。郵送の場合には十月二十六日(日)の消印まで有効です。

■記載内容

応募にはつぎの内容を記載してください。

- ① 新市の名称としてふさわしい名称案(漢字の場合にはふりがなも記載)

※名称案の由来・理由がありましたらお書きください。

- ② 応募者の氏名

- ③ 応募者の住所

■応募の制限

- ① 応募一枚につき一点の記載とします。ただし、複数の名称案をお持ちの方は、

何枚でも応募できます。

- ② 名称案は、漢字、ひらがな、カタカナ、またはこれらの組み合わせにより表記してください。
- ③ 公序良俗に反する名称、長すぎる名称などは応募できません。

■応募方法

つぎの①～⑤のいずれかの方法で応募してください。なお、②～⑤の方法による場合は、記載内容の全てを記載してください。

- ① 専用はがき(これから圏内に全戸配布するチラシに付いています)

複数枚必要な方は、コピーして使用してください。

※ 専用はがき用の応募箱を設置していますので、その中に入れていただくか、切手を貼って郵送してください。

- ② 川西町では、役場、総合体育館、上野郵便局、高齢者コミュニティセンター、仙田体験交流に応募箱を設置します。
- ② 官製はがき

- ③ 封書、
- ④ ファクシミリ、
- ⑤ Eメール

■記念品

新市の名称に決定した名称案に応募された方に記念品を贈呈します。

なお、該当者が複数いる場合は抽選とさせていただきます。

■名称案に関する権利

応募された名称案に関する一切の権利は、十日町市、川西町、中里村、松代町及び松之山町に帰属します。

■その他

新市将来構想の概要版を十月十日頃に圏域内の全世帯に配布しますので、名称案を考えるうえでの参考としてください。

■応募先・問い合わせ先

十日町広域圏合併任意協議会事務局

〒九四八-〇〇八五
十日町市寅甲一番地一(旧織物会館二階)
TEL 〇二五七-五二一七七二五
FAX 〇二五七-五二一七七二六
Eメール
to-gappei@iris.ocn.ne.jp
ホームページ
<http://www11.ocn.ne.jp/~t-gappei/>

第8回合併任意協議会

平成十五年九月二日に川西町総合センターを会場に「第8回十日町広域圏合併任意協議会（会長・山本中里村長）」が開催されました。

田口川西町長が議長となり、議案二件、報告五件が議題として提出されました。協議された内容はつぎのとおりです。

協議内容

○報告第一号 新市の名称案公募要領について 「新市の名称案選定小委員会」で検討された、公募要領について報告されました。応募方法などの詳細は前ページに掲載しました。

○報告第二号 新市将来構想（案）の答申について 本年二月二十六日に設置され、十回の会議を重ねて検討された「新市将来構想（案）」が、高津富士男委員長から答申されました。

○議案第一号 新市将来構想の決定について 答申された新市将来構想（案）について、協議会で審議し、承認されました。

○報告第三号 長期財政の見通し（案）について 合併した場合における、新市の長期的な財政状況をシミュレーションした見通しについて報告がありました。

歳入の相当部分を占める地方交付税が人口推計により減額されることや、歳出については、人件費、物件費及び補助費等の縮減などについて、推計された数値が示されました。

これらの長期的な財政見通しについては、今後の状況が不透明な段階での推計のため、中間報告として委員が認識をすることとしました。

○議案第二号 事務事業協議について 今回の合併協議会では、前回に時間切れで協議未了となった「克雪利雪関係」も含めて、四分野から一二件の項目を協議した結果、町内委託除雪を含む除雪関係の三件が差し戻しとなり再協議することになりました。

「承認項目」

- 克雪利雪関係 一件
 - 民税関係 三件
 - 資産税関係 三件
 - 学校教育関係 二件
- なお、協議された項目

の内容や結果については、「合併の風／第四号」に掲載しました。

○報告第四号 事務事業調整結果の報告について 前回の未了分も含め、幹事会（各市町村の助役と合併担当課長で構成）で協議された項目を報告し、合併任意協議会で確認されました。

「確認された項目」

- 管財関係 三件
- 克雪利雪関係 八件
- 資産税関係 三件
- 税収関係 三件
- 住民関係 一件
- 学校教育関係 九件



活発な議論が行われた第8回協議会
(川西町総合センター)

合併歳時記

▼八月十一日（協議会事務局）

第十四回市町村計画担当課長会議が開催されました

▼八月十一日（活性化センター）

第五回川西町市町村合併問題検討委員会が開催され、「新市将来構想（案）」などについて確認を行いました。

▼八月十二日（十日町市）

新市将来構想中間合同説明会・意見交換会が開催されました。

▼八月十八日（川西町総合センター）

第九回新市将来構想検討委員会（合併任意協議会の附属機関）が開催されました。

▼八月十八日（川西町総合センター）

第十五回市町村計画担当課長会議が開催されました

▼八月二十二日（十日町市役所）

十日町広域圏合併任意協議会の第十三回幹事会（助役・合併担当課長で構成）が開催されました。

▼八月二十五日（活性化センター）

第六回川西町市町村合併問題検討委員会が開催され、「中間報告」などについて確認を行いました。

▼八月二十六日（協議会事務局）

第十六回市町村計画担当課長会議が開催されました。

▼八月二十七日（十日町市役所）

第十四回幹事会が開催されました。

▼八月二十八日（松之山町）

第十回新市将来構想検討委員会開催され「最終答申」について確認しました。

▼八月二十八日（松之山町）

第十七回市町村計画担当課長会議が開催されました。

▼八月二十九日（活性化センター）

十日町広域圏合併任意協議会の川西町選出委員と役場担当課で第八回協議会の議案について事前検討会を開催しました。

▼九月二日（川西町総合センター）

第八回十日町広域圏合併任意協議会が開催されました。

お知らせ



第9回 合併任意協議会

平成15年9月19日(金)

午後1時30分から

松代町総合センター



力泳が続きます！

第33回 町内小学校 親善水泳大会結果

8月1日、橘小学校プールで第33回町内小学校親善水泳大会が行われました。

大勢の観衆の中、選手達は白い水しぶきを上げて練習の成果を発揮していました。

5年男子			5年女子		
自由形 25メートル			自由形 25メートル		
①小島泰平 (上野)	②櫃間 颯 (千手)	③平野恭兵 (千手)	①中條美冬 (千手)	②押木知美 (上野)	③田口千恵 (橘)
自由形 50メートル			自由形 50メートル		
①小林大樹 (千手)	②高橋邦浩 (千手)	③関口優輔 (千手)	①丸山未彩紀 (橘)	②渡辺綾音 (上野)	③田口千恵 (橘)
自由形 100メートル			自由形 100メートル		
①高橋直哉 (橘)			①田中千穂 (橘)	②野沢千明 (橘)	
平泳ぎ 50メートル			平泳ぎ 50メートル		
①小林翔吾 (千手)	②桑原 溪 (上野)	③相崎郁哉 (千手)	①保坂優季 (千手)	②渡部亜紗美 (橘)	③中村亜希子 (千手)
平泳ぎ 100メートル			平泳ぎ 100メートル		
①小林大樹 (千手)	②相崎郁哉 (千手)	③太田祥仁 (千手)	①高橋りほ (千手)	②白井咲貴 (千手)	③高橋実弥 (千手)
背泳ぎ 50メートル			背泳ぎ 50メートル		
①丸山友浩 (橘)			①白井咲貴 (千手)	②野沢千明 (橘)	
バタフライ 50メートル			バタフライ 25メートル		
①星名陽太 (千手)	②高橋直哉 (橘)		①高橋実弥 (千手)	②渡辺綾音 (上野)	
個人メドレー 100メートル			バタフライ 50メートル		
①星名陽太 (千手)			①丸山未彩紀 (橘)		
200メートルリレー (50M×4)			個人メドレー 100メートル		
①千手チーム	②橘チーム		①渡部亜紗美 (橘)		
200メートルメドレーリレー (50M×4)			200メートルリレー (50M×4)		
①千手チーム	②橘チーム		①千手チーム	②橘チーム	③上野チーム
			200メートルメドレーリレー (50M×4)		
			①千手チーム	②橘チーム	
6年男子			6年女子		
自由形 25メートル			自由形 25メートル		
①田辺貴大 (千手)	②茂野 俊 (千手)	③星名洋紀 (千手)	①喜多悠莉 (千手)	星名美咲 (千手)	平野 遥 (千手)
自由形 50メートル			自由形 50メートル		
①高橋大輝 (千手)	②山口翔太 (橘)	③丸山直純 (千手)	①和久井雅子 (橘)	②村越真弓 (橘)	③引間美里 (千手)
自由形 100メートル			自由形 100メートル		
①小林一輝 (仙田)	②村越裕太郎 (橘)	③根津大輔 (橘)	①和久井雅子 (橘)	和久井美穂 (橘)	
平泳ぎ 50メートル			平泳ぎ 50メートル		
①丸山廉太 (千手)	②中條貴志 (仙田)	③水品和也 (上野)	①片桐知美 (千手)	②藤巻彩佳 (橘)	③田村鈴香 (上野)
平泳ぎ 100メートル			平泳ぎ 100メートル		
①根津 元 (上野)	②中條貴志 (仙田)	③押木友裕 (千手)	①藤巻彩佳 (橘)	②丸山夏織 (千手)	③高橋知子 (上野)
背泳ぎ 50メートル			背泳ぎ 50メートル		
①鈴木暖基 (上野)	②山口翔太 (橘)		①高橋 梢 (千手)	②田口詩織 (橘)	③中村恵利 (千手)
バタフライ 50メートル			背泳ぎ 100メートル		
①滋野健人 (橘)			①田口詩織 (橘)	②羽鳥友紀子 (橘)	
バタフライ 100メートル			バタフライ 25メートル		
①鈴木暖基 (上野)	②滋野健人 (橘)		①押木あゆみ (千手)		
個人メドレー 100メートル			バタフライ 50メートル		
①根津 元 (上野)			①村越真弓 (橘)	②高橋 梢 (千手)	
200メートルリレー (50M×4)			個人メドレー 100メートル		
①千手 A チーム	②上野チーム	③千手 B チーム	①丸山夏織 (千手)		
200メートルメドレーリレー (50M×4)			200メートルリレー (50M×4)		
①千手チーム	②上野チーム	③橘チーム	①千手 A チーム	②橘チーム	③上野チーム
			200メートルメドレーリレー (50M×4)		
			①千手チーム	②橘チーム	

鶴吉は出流か

ツルは、水流に関するところから出た呼び名ではないか。水の流れが止まってゆったりと落ち着いているところをトロというのに対し、地形の関係で押さえられていた流れが、段差があつて滝のようになつたり、急に平らなところへ出たので勢いよく広がって流れ出すのを出流と呼ぶと、説明している書物がある。(柳田国男・他)

鶴吉沢川(松葉沢川)が狭い沢から出て分かれて広がり、水田を開くの都合よくなつている地形であるから、出流の意味から呼び名が生まれたのかもしれない。

もしそうであるとすれば、鶴も吉も、佳字(めでたい文字)を充てて鶴吉と名乗つたのであろうし、吉については吉田村の例がある。

現在の集落東方は、基盤整備の済んだ見事な水田が広がっているけれども、仙田へ入っている川沿いは鶴吉沢と呼んでいて、鶴吉と霜条の山田が入り混じっている。現在の米事情に影響されて、耕作放棄された水田も多いが、急な山のひだから漏れ出る水を大事にしながら、両村の祖先たちがコッコツと苦労して開いたところである。

すでに述べた旧市川街道が通っており、山の根道・根岸の道とも呼ばれていたが、ムラの成立はいつのころであつたのだろうか。

板碑(自然石梵字碑)が残つていて、南北朝時代の年号が彫られている。当然に、軍兵たちを受け入れるムラがあつたわけだろう。鶴吉・霜条・坪山だけでなく、山の根沿いに、ムラ・耕地が完全に定着していたことがうかがえる。

集落の西山を寺山と呼び、その山すそを大門と呼んでいた。

おふくんの話(第二十九回)

上野 上村政基

地元の何人かに聞いてみたが、もしかしたら霜条の清龍寺の山林でもあつたのではないかと聞いたのはたつたひとりであり、他の人たちは全然知らないというのであつた。

清龍寺創設よりもずっと昔に、何かしらの物語が伝えられていると、大変な意味を含んでいることになるのだけれども。

近世に入ると、正保二年(一六四五) 絵図に六二石余の記載があり、延宝七年(一六七九) 改高は六二石六斗八升とある。寛文四年(一六六四)の松平光

長印知目録にも含まれ、同八年には二戸という記録もあるという。これらが、具体的資料に掲げられる鶴吉村名の最初である。

天和三年(一六八三) 検地帳では、田四町七反余、畑・屋敷で一町七反余、他に柴山三町余・青苧畑・漆木などを加えて総石高が六七石余とある。

元禄七年(一六九四) 村鑑に、家四軒・人数三五人・馬六匹とあり、家数からみると、一軒当たりの石高・面積の割合が多い。家族の人数が多く、いわゆる大家族であつたというより

も、年貢上納の名義戸数を掲げているのであり、表面に書き上げられていない陰の分家があつたのではないかと考えられる。

明治四十三年には一四戸になつていたし、現在は一一世帯となつている。

昔の鎮守さま

今は、昭和三十四年に千手神社へ合祀してしまつたが、それまでの鎮守は伊須流支社で、祭神は七神と数が多かつた。

明治四年に一社にまとめて伊須流支社と称したというが、それ以前は、別々に祀られていたものであろうか。

そのころの鶴吉村は、田村・渡辺の二マキしかなかつたのに、このように多くの神々を祀つていたというのは、どのような理由があつたものか。

伊弉諾尊
大名持命 (大己貴命)
石凝姥命 (石凝姥命)
木花開邪姫命
市杵島姫命
天照大御神
埴安姫命

伊須流支社は、伊須流岐社と書き、石川県鹿島町の石動山が本社で、中世から近世にかけて大層な信仰集団を持ち、「いすろぎ山伏」が、北陸地方はもとより、全国を回って信心を広め

た。崇神天皇の御代に始まつたも伝えられるが、奈良の大仏がつくられたころの泰澄大師が基礎を固めたという。

したがって、もともとは修験宗の寺であつたわけだが、明治維新直後の神道重視・仏教整理の政策に追われて、本尊を伊弉諾尊に改め神社として存続した。そのために、鶴吉でも主祭神を同様にして継続したものであろう。

当地方には数少ない神社であるが、名ヶ山の石動社で、面白い話が残っている。

さきに述べたように、名ヶ山は上新井村の信濃川中州から山中へ移つてつくられたムラである。新しく入つた人たちの方が力があつたためか、先に自分たちの八幡社を建てた。以前から住んでいた人たちはそれを見て面白くなく、もつと古くてエライ神様がいないものかと旅の山伏に聞いたところ、それならば石動様が一番だと教えてくれた。それならばということ自分で分たちは石動社を祀つたという。

明治四十一年に両社を合併して、八幡社と称することになつたが、仏と神との区別に無頓着の時代であつたことが分かつて興味深いものがある。



南北朝時代の鶴吉釈迦堂板碑



【ご存知ですか介護保険】

介護サービスって

何？①

～シエン君挫折しその巻～

前は、ケアマネージャーについて学びました。介護サービスを利用する際、力強い味方になってくれる方でしたね。



こんにちは、健康シエンです。

実は僕、前回、将来ケアマネージャーを目指すことに決めました。

そこで、まず介護保険のサービスにはどんなものがあるのか、これを知らなければケアマネージャーにはなれないぞ！と

いうことで意気込んで勉強を始めてみたのはいいんだけど…いろいろありすぎて、覚えきれないんだ。どうしよう…。

あらあら、シエン君は、早速、つまづいているようですね。それでは介護サービスにはどんなものがあるのか、シエン君と一緒に確認していきましよう。

こんなサービスがあります。

(居宅サービス)

- ① 居宅介護支援
- ② 訪問介護
- ③ 訪問入浴介護
- ④ 訪問リハビリテーション
- ⑤ 居宅療養管理指導
- ⑥ 訪問看護
- ⑦ 通所介護
- ⑧ 通所リハビリテーション
- ⑨ 短期入所生活介護
- ⑩ 短期入所療養介護
- ⑪ 福祉用具購入
- ⑫ 福祉用具の貸与
- ⑬ 住宅改修
- ⑭ 痴呆対応型共同生活介護
- ⑮ 特定施設入所者生活介護

(施設サービス)

- ① 介護老人福祉施設
- ② 介護老人保健施設
- ③ 介護療養型医療施設

ほらね、いっぱいあるでしょ。覚えきれないわけがないよ。ケアマネージャーになるのあきらめようかな…。

うふふ。そんなこと言わずに、せっかくの将来の夢だから、そう簡単にはあきらめないで。ゆっくりと一つずつ確認していけばいいでしょう。みなさんもシエン君と一緒に勉強していきましょう。

まず今回は居宅サービスの①から⑥までを確認していきましょう。

① 居宅介護支援 ケアマネージャーがケアプランを作り、利用者が安心して介護サービスを利用できるように支援します。ケアプランの作成、相談は無料です。

② 訪問介護（ホームヘルプサービス） ホームヘルパーがお宅を訪問し、身体介護や生活支援などを行います。例えば、食事、入浴、排せつのお世話、通院の付き添いなどが主なサービスです。

③ 訪問入浴介護 移動入浴車などで訪問し、入浴の介助を行います。



④ 訪問リハビリテーション リハビリの専門家（理学療法士や作業療法士）が訪問し、リハビリを行います。

⑤ 居宅療養管理指導 医師、歯科医師、薬剤師、歯科衛生士などが訪問し、薬の飲み方、食事など療養上の管理、指導を行います。

⑥ 訪問看護 看護師などが訪問し、病状の観察、床ずれの手当、点滴の管理などを行います。

ふーん、なるほど。ゆっくり確認してみたら、それほど難しくもないぞ。

要するに、利用者が何を必要としているかを考えれば、自然に思いつくサービスばかりだね。

そのとおりです。まずは、担当のケアマネージャーにどんなサービスを利用したいのか、どんなことを助けてほしいのか、遠慮せずに相談してみてください。

きつとあなたにピッタリのサービスが見つかるはずですよ。いかがでしたか。シエン君はなんとか夢をあきらめずにすみそうです。

次回も引き続き、介護サービスの内容についてみていきましょう。

そういえば、川西町にも健康増進のためのプールができるらしいよ。

みんなが笑顔ですごせるために介護保険制度はあるんだけど、その制度を利用しなくては、もっと笑顔でいられるよね。

より多くの方が介護を受けなくてすむ（介護予防）ためにも、健康プールが完成したら、みんなで利用しようね。建設工事の進み具合が本紙十ページに載っているよ。



●問い合わせ けんこう支援課 介護保険係 ☎ 68-3111

新潟県「都市計画区域マスタープラン」に関する 公聴会開催のお知らせ

新潟県では、長期的な視点に立った都市の将来像を明確にする、「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（都市計画区域マスタープラン）」の策定作業を行ってきましたが、このたび素案がまとまりましたので、住民の皆様の意見をお聴きする公聴会を開催いたします。

一、日時

平成十五年十月二十三日（木曜日）午後七時から

二、場所

◎会場 六日町文化会館

◎住所 南魚沼郡六日町大字六日町八六五

☎0257-73-5500

三、公述の申出

素案について意見のある方は、公述申出期限までに、意見の要旨及びその理由並びに氏名、住所及び電話番号を記載した知事あての書面を、公述申出先へ提出してください。（様式自由）なお公述の申出は、以下の都市計画区域に在住する住民

に限りません。

・川西都市計画区域（川西町）
・その他の都市計画区域（十日町市、六日町、湯沢町、大和町、湯沢町）

四、公述申出期限

平成十五年十月三日（金曜日）（必着のこと）

五、公述申出先及び 問い合わせ先

新潟県土木部都市局都市政策課
都市計画係

◎住所 〒950-8570
新潟市新光町四番地一

☎025-285-5511
（内線3332）

FAX 025-285-0624



六、公述人の決定

公述人を決定したときは、当該公述人にその旨を通知します。

七、費用負担

公述人の陳述に要する費用は、すべて公述人の負担となります。

八、公聴会の傍聴

公聴会の傍聴を希望する人は、当日公聴会の開催予定時刻までに、会場の受付で氏名及び住所を記入し、係員の指示に従って公聴会の会場に入室してください。

なお、傍聴の受付は、午後六時三〇分から先着順で行い、公聴会の開催予定時刻前であって

も、定員の二〇〇人になり次第終了します。

九、公聴会の中止

公述の申出がない場合は、公聴会を開催しません。公聴会の傍聴を希望する人は、開催の有

無について、あらかじめ問い合わせ先へ確認してください。
なお、開催日の十日前までに公聴会開催の有無を、県庁都市政策課ホームページに掲載します。

『健康増進施設（健康プール）』の 建築工事が進んでいます。

町では、高齢者の健康づくりと住民の皆様の健康増進を推進するために、健康増進施設（健康プール）の建築を行っています。

このプールは、温水（約三〇度）を使い年間を通して利用できるもので、水の特性（浮力、抵抗、水圧など）を生かした体にやさしい運動を行うことができます。

町では、高齢者を対象にした水中運動教室を平成一〇年度から続けていますが、大勢の参加者があります。「ひび、腰の痛みが和らぎ立ちすわりが楽になった」とか、「運動のあとの爽快感がうれしい」といった声を聞いています。

建築工事は現在、基礎杭の工事が終わり地階部分の掘削を行っています。年内には屋根工事まで進め建物の形が



見えてくる予定です。また、工事の竣工は来年六月を予定しており、七月には施設をオープンすることができると見込みです。
水中運動教室の実施、施設の利用方法については、あらためてお知らせいたしますので、大勢のみなさまのご利用を期待しています。

催し

シンポジウムのご案内 「引きこもりを考える」

新潟県精神保健福祉センターの公開講座として開催されます。ひきこもりに関心がある方は、ご参加ください。

■期日 九月十七日(水)

■時間 午後一時半～四時

■会場 県立生涯学習センター

(新潟市女池南二一―一)

■申し込み 新潟県精神保健福祉センター

☎025-231-6111

※詳しい案内書が必要な方は、役場けんこう支援課健康推進係へご連絡ください。

☎68-3111

(内線235)

第六回十日町 刑務所 作業製品展示即売会

全国の矯正施設で生産された約二千点の製品を出品します。その他写真パネル等による被収容者の生活の状況を紹介いたします。

■期日 九月二十日(土)・二十一日(日)

午後一時～四時

■時間 午前十時～午後四時
(二十一日は午後三時まで)

■会場 クロス10(十日町地域
地場産業振興センター)

■催事内容

- ・家具(各種タンス、食器棚等)
- ・金属製品(ジョーロ等)
- ・革製品(靴、ベルト、バック)
- ・木彫製品(堆朱等)

■問い合わせ

新潟刑務所企画部門(作業)

☎025-286-5626

教室

息らくらく教室

肺気腫、気管支喘息、じん肺、肺結核後遺症などで、息切れ、咳、痰などの症状でお悩みの方を対象に三回コースで息らくらく教室を実施します。

同じ悩みをもつ仲間と一緒に学んだり、お話ししたりしませんか。ご家族と一緒に参加も大歓迎です。

■日時

①九月十九日(金)

午後一時～四時

②十月七日(火)

午後一時～四時

③十月二十二日(水)

午前十時～午後二時半

■場所 ながみの家 会議室
(十日町市高山一三六〇―一)

■内容

肺機能検査、肺の病気についての医師の講話、理学療法士による呼吸リハビリテーションの講義と実技、管理栄養士による食事についての講話と昼食会、参加者同士の座談会、保健師による相談など

■申し込み・問い合わせ

十日町健康福祉事務所

地域保健課

「息らくらく教室」担当者

☎57-2402

シルバー世代のための安心・快適Hクッキング ヒーター体験料理教室

■期日 九月二十四日(水)

■時間 午前十時～午後一時

■内容 和風おもてなし料理

・ 菊葉の磯和え

・ 鮭塩焼き和風おろしソース

・ 初秋のじぶ煮

・ 彩り混ぜごはん

■申込締切 九月十八日(木)

■ところ 東北電力(株)十日町営業所クッキングスタジオ「エプロン」

■参加費 五〇〇円

募集

平成十六年度県立テク ノスクール訓練生募集

■募集科名

【高等学校卒業生対象科】

NC機械、自動車整備、電気システム、メカトロニクス、ホテルビジネス、OA事務、工業デザイン、電気施設

【義務教育修了者以上対象科】

生産システム、建築、左官

■募集受付期間

◎推薦選考(高等学校卒業生対象科のみ実施)九月十七日(水)～十月一日(水)

◎一般選考十月十六日(木)～十一月六日(木)

◎推薦選考 十月八日(水)

◎一般選考 十一月十九日(水)

■選考日

◎推薦選考 十月八日(水)

◎一般選考 十一月十九日(水)

■問い合わせ

魚沼テクノスクール

☎02579-4-2410

相談

「暮らしなんでも相談」 のご案内

サラ金、金融、不動産、相続、医療、家庭問題など暮らしの中で生じるさまざまなトラブルや教育、健康、園芸等の悩みごとに弁護士等の専門家が答えいたします。相談は無料で秘密は厳守いたします。お気軽にご相談ください。

■相談方法

相談内容と返信用封筒を同封のうえ、左記の相談先へ郵送してください。相談用紙は何でもかまいませんが、パンフレット(専用相談用紙)は労働金庫本支店の窓口にあります。

■郵送先 〒951-8565

新潟市寄居町三三二番地三八

労働金庫本店内

(財)新潟県勤労者福祉厚生財

団「暮らしなんでも相談室」係

※インターネットでも相談を受け付けています。アドレス

<http://www.niigata-rokin.or.jp>

■問い合わせ

(財)新潟県勤労者福祉厚生財

団(担当:中村)

☎025-228-3411

その他

介護老人福祉施設の入所判定基準が十月から変わります

介護保険制度導入以来、入所は原則として申し込みの順番となっていました。このため、緊急を要する人の対応に不十分な面がありました。また、申し込みについては、事情により複数の施設を申し込みされている方がいますので、必然的に各施設の待機者が多くなり、申し込み時点では、入所まで二〜三年の待機期間が必要となっていました。

これらを改善して、入所の必要性が極めて高いと認められる人が、優先的に入所できるように十月より判定基準を変更します。

■新しい入所判定基準

◎ 本人の要介護の状況

◎ 介護の必要性

◎ 入所待機期間

◎ 特段の事情を有するもの

これらの要素を施設が任命した入所判定委員が審査し、入所を決定します。

■ 対象施設

三好園、あかね園、恵福園、七川荘

■ 申し込み・問い合わせ

・ 三好園 ☎ 56-2106

・ あかね園 ☎ 68-4565

・ 恵福園 ☎ 65-3700

・ 七川荘 ☎ 63-2669

じん肺の所見がある方に発生した肺がんの労災補償についてお知らせ

じん肺の所見がある方（じん肺管理区分が管理二、管理三、又は管理四と決定された方）に発生した原発性肺がんについては、これまで管理三、又は管理四の方が労災補償の対象となっていました。平成十四年十一月十一日以降は、管理二の方も対象となりましたのでお知らせします。

これに関する労災補償制度や手続きについての詳細は左記へお問い合わせください。

■ 問い合わせ

十日町労働基準監督署 労災係

☎ 0257-52-2079

「かわにし絵本村」情報 No.4

★杉みき子氏 講演会

- 日時 10月4日（土）午後2時～
- 会場 総合センター
- 講演内容 「さまざまな出会い」

★絵本村

- 期 日 10月5日（日）
- 時 間 午前9時～午後2時
- 会 場 光の館
- 内 容 絵本展示・おはなし会

自然に囲まれた光の館で、絵本を読み、のんびりと過ごしませんか？

子供たちだけでなく大人の方も、笑ったり感動したり、心にゾーンとくる絵本に出会えるかもしれませんよ。

住宅・土地統計調査にご協力ください

10月1日現在で、平成15年度住宅・土地統計調査を行います。9月下旬から10月上旬に調査員が下記の対象地区にお伺いします。統計法に基づき秘密は厳守されます。正確なご記入をお願いします。

【対象地区】朝日町、栄町、上町、木島、三領、新町新田、なかまの家、田戸・越ヶ沢、下原

アップ 役場 No.28

勝手に予定が入る？



でも世界の流れに遅れをとらないようにと、最新の情報管理システムを導入しました。これにより、施設や設備の予約、会議や出張の日程調整、メールでの情報のやりとりが職員個人単位で可能となり、紙資源の節約にもつながります。

手に予定を入れられてはたまらないと、みんな自分の日程を早めに入力しようと必死です。パソコンに弱い職員は、「早く、しゃべったとおり動く機械を作れ」とメーカーにはつばをかけているとか…。

「二〇〇五年までに、日本を世界でトップのIT国家に！」というのが国のIT戦略プランのかけ声ですが、旗だけ振っても現実が追いつかなければ絵に描いた餅です。

機能は充実しても、使わなければ宝の持ち腐れです。そのため、職員対象の操作研修も、三日間、六コースに分かれてバッチリ行われました。他の職員の日程も予約できるシステムとあって、勝

10月は

「土地月間」です



一定面積以上の土地取引には届出が必要です。

国土利用計画法では、国土の適正かつ合理的な土地利用の確保を図るため、法定面積以上の土地取引を行った場合、契約締結日（予約を含む）から二週間以内に、土地の所在する市町村を経由して都道府県知事に届出をすることを義務付けています。

- 届出義務者
権利取得者（売買であれば買主）
 - 届出時期
契約締結日から二週間以内
 - 届出場所
土地の所在する市町村の窓口
 - 届出事項
 - ①土地売買等の当事者
 - ②土地の所在
 - ③土地の利用目的
 - ④土地の対価など
 - 法定面積
 - ①市街化区域
二、〇〇〇㎡以上
 - ②市街化区域を除く都市計画区域
五、〇〇〇㎡以上
 - ③都市計画区域以外の区域
一〇、〇〇〇㎡以上
- ※個々の取引面積は小さくても、土地の総面積が上記の面積以上になる場合には、届出が必要になります。

※土地にかかる契約（予約）をした日から二週間以内に届出をしなかったり、偽りの届出をすると、法律により罰せられることがあります。

※国・県・市町村等が売主である場合は、届出の必要はありません。

平成十五年度の地価調査の結果が九月十九日（金）に公表されます。

地価調査では、県内六九七地点の基準地の標準価格を公表します。この価格は、土地取引の目安とされたり、公共事業における土地の取得価格決定のよりどころとなるものです。

※調査結果は、県庁、市町村の窓口のほか、

- 新潟県ホームページ
(<http://www.pref.niigata.jp/>)
- 国土交通省ホームページ
(<http://tochi.mlit.go.jp/>) をご覧いただけます。



不動産鑑定士による不動産の無料相談会が十月二日（木）に開催されます。

- 日時 十月二日（木）午後一時～四時三〇分（各会場とも）
- 会場
 - ・長岡（長岡市役所幸町分室 会議室）
 - ・上越（上越市市民プラザ二階 会議室）
 - ・柏崎（柏崎市役所 会議室）

●対象 不動産の価格決定や賃貸等でお困りの方

●問い合わせ 社団法人 新潟県不動産鑑定士協会

※申込不要。直接会場へお出かけください。

講演会が開催されます。是非ご参加ください。

- 日時 十月十四日（火）午後二時～三時三〇分
- 場所 「だいしホール」（新潟市東堀前通7番町 第四銀行隣り）

●テーマ 「都市景観と都市のデザイン（予定）」（講師：京都大学大学院教授 樋口忠彦氏）

※申し込み先及び詳しくは

新潟県不動産鑑定士協会
(TEL 025-2225-2873)。入場無料。



- 日時 十月十五日（水）午後一時三〇分～四時

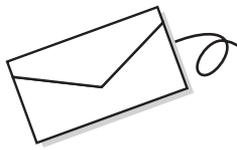
●場所 「朱鷺メッセ（新潟コンベンションセンター）」 国際会議室（新潟市万代島）

●テーマ 「最近の地価の動向と今後の土地対策（予定）」（講師：国土交通省 土地・水資源局長 伊藤鎮樹氏）

●テーマ2 「不動産と金融（予定）」（講師：日本政策投資銀行 野口秀行氏）

※申込締切 十月十日（金）まで。先着三〇〇人程度まで。
※申し込み先及び詳しくは日本不動産研究所新潟支所
(TEL 025-2228-3761)。入場無料。

お寄せください あなたの 意見・提案・質問



町では、皆さんのご意見やご提案をまちづくりを生かしていきたいと、「まちづくりについての提言や意見」をいただいています。これまでに届いたものの中から、紙面で紹介する必要があるものを、内容を抜粋してご紹介します。

ごみの分別は練習？

Q. ごみのリサイクルについて、昨年に比べて細かく分類するようになり喜んでいる。



ガラスびんは色別に収集、処理されています

しかし、分別された紙類（A群B群）ペットボトル・白色トレイ、プラスチック類、鉄・アルミ、ガラスびんは、本当にリサイクルされているのか。話によると、リサイクルされず、分別の練習をしているのだとか？

〈決して練習ではありませぬ〉

A. ごみの分別収集は、ごみの減量化・再資源化の取り組みとして、平成七年度から実施しています。収集したごみは、大別して再資源化するもの、焼却

処分するもの、埋め立て処分するものとして確実に処理しています。

ガラスびんの収集は、色別に別々の車で収集していますし、その旨受託者に徹底しています。決して、練習というようなことではありません。

なお、分別回収された資源物ごみは、紙類（A群B群）ペットボトル、白色トレイ、プラスチック類、鉄・アルミについては川西町地内の、ガラスびんについては十日町市内の民間再生処理業者で確実に再資源化されていますので、ご安心ください。

最近のごみの分別が細かくなり、お手数をおかけし大変かとは思いますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

●お・ね・が・い●

このコーナーでは、皆さんの素朴な疑問や積極的なご提言をお待ちしています。提案用のハガキは、四月と一〇月に全戸配布するほか、役場の窓口にも用意しておりますのでご利用ください。

なお、匿名の場合は直接の回答ができませんし、紙面でもご紹介できないことが多いことをご承知おきください。



⑧ 川西町 体育協会

協会加盟団体の紹介

川西町バスケットボール協会

現在川西町バスケットボール協会は二〇人で構成されており、青年男子は毎年十数回行われる各種大会の上位を目指して週二回の練習をしています。個人の能力はもちろん、チームの連携が大きく勝敗を左右する種目でもあるため、技術の向上を図り、互いに競い合いながら団結を深めています。



ミニバスケットボール教室の参加者

毎週楽しくバスケットボールをすることをモットーに活動しています。やさしいお兄さん(?)達が指導しています。先月行われたアルビレックス新潟のエキシビジョンマッチには、魚沼選抜として男子二名、女子一名が出場しました。小学校四〜六年生で男女問わず、「バスケットボールをしたい」、「バスケットボールをうまくやりたい」、「友達を増やしたい」とやる気満々の小学生を募集しています。

川西町では、バスケットボールチームは男子しかありませんが、小学生から大人まで楽しめるスポーツです。競技経験のある方はもちろん、初めての方、興味のある方は左記の日程で練習しますのでお気軽にご

参加ください。

☆ミニバスケットボール教室

毎週木曜日 町総合体育館

午後六時三〇分〜八時三〇分

☆男子バスケットボール

毎週火曜日 川西中学体育館

木曜日 町総合体育館

午後八時〜十時

平成十四年度からは、「川西町ミニバスケットボール教室」を開始しました。まだ始めたばかりで人数は少なめですが、

●お問合せ先 川西町教育委員会内 川西町体育協会事務局
(電話68-2167)



力強くポーズを決める高橋選手（左）と田辺選手（中）

今度こそ日本一に！ 全日本選手権大会で 川西拳士活躍

《入田仁さん（十日町市）発》

八月三日、東京武道館に全国各地の厳しい予選を勝ち抜いた小学生拳士の精鋭たちが集い、第三回全日本少年少女空手道選手権大会が開催されました。本紙七月号で報告いたしましたとおり、昨年に引き続き千手小六

年の田辺貴大選手（南台）と同小二年の高橋寛行選手（東善寺）が県代表として堂々たる試合を繰り広げてきました。

四年生の時から県大会を三連覇し三年連続出場となった田辺選手は一回戦をリードされ、二回戦でいきなり昨年度覇者の在原選手（岡山県代表）と激突し、惜しくも敗れてしまいました。

一方、昨年は五位入賞を果たしている高橋選手もベスト一六まで勝ち上がりましたが、こちらも惜しくも敗れ、二年連続の入賞はあと一歩というところでした。

二人とも、決意を表すかのように試合前に頭を丸刈りにして試合に臨みましたが残念な結果となりました。しかし、敗れはしましたが普段指導をし、当日試合を観戦した私の目から見て

も、二人とも全国トップと遜色ない実力を持つていることを確信いたしました。二人にはこれから不屈の闘志で精進を重ね、更なる飛躍を目指してがんばってもらいたいと思います。二人の活躍が、後へ続く川西少

大地の芸術祭協賛！

そばまきアートとそうめん流しの日

《渡貫和美さん（新町新田）発》

上野地区子どもを育てる会の今年のメインイベント「そばまきアート」（大地の芸術祭協賛イベント）が台風一過の八月十日、幸運な晴れ間を縫って盛大に行われました。

午前九時、緑に囲まれた星名新田に大人子ども合わせて一〇



そうめん、早くこないかな

年拳士達への何よりの励みとなるでしょうから。

八月五日には教育委員会において、丸山公民館長に試合の報告を行い、「中学では今度こそ日本一になります」（田辺）「来年は絶対に賞状をもらって帰っ

〇人が集合しました。そして、各班に分かれて、それぞれ思い思いに畑に絵を描くように、そばの種まきアートを楽しみました。

このアートは、そばの花が咲いたときに図柄や文字が浮かび上がってくるように種まきをするのがポイントで、秋には、節黒城跡ハイキングを兼ねて、花が咲いたころのそば畑を再び訪ねてコンテストを行う予定です。

そばまき終了後、節黒城跡キャンプ場に移動してのお昼はそうめん流し。広場には、雨どいを使って三〇メートルほどの簡易そうめん流しの施設が出来上がっていて、そのアイデアに感激しながらおいしいそうめんをいただきました。心と体をリフレッシュした後、子どもたちは葉っぱアートづくりも楽しみ、

てきます」（高橋）と、今後の決意を力強く語りました。どうやら私の心配も杞憂に終わりそうです。

これからも川西拳士達の戦いは続きます。皆様の熱い声援をお願いいたします。

ステキな作品がたくさん出来上がりました。



ていねいに種をまきました

今後、「そばまきアート」をとおして、ハイキング、収穫、試食会のイベントを予定していますので、また大勢の子どもたちから参加してほしいと思います。

最後になりましたが、畑の準備や当日もお手伝いいただいた上野青年会の皆様、ありがとうございました。

楽しかったドッチボール大会

《小柳安由美さん(元町)発》

七月六日、小学生から大人まで大勢が参加して、上野地区のドッチボール大会が行われました。

大人と子どもの混合チームで、小さな子どもが一所懸命ボールを投げたり、逃げたりしている姿がとても印象的でした。また、ぶつけようとして投げられたボールを受けると「オー」と歓声が上がってゲームが盛り上がったりで、とても楽しく観ることができました。



ボールをトスするところから真剣勝負です

上野地区体協の皆さんと子どもを育てる会の皆さんのご尽力のおかげで大会も無事終わり、慰労会では、たっぷりかいた汗の補給も(とくに大人が)バツチリといたしました。関係者の方々も毎年のことで大変だとは思いますが、この大会がこれからも続いてほしいと思います。

新しい図書館、ホールを考える

生涯学習施設管理運営等懇談会

広報かわにし七月号(No五三九)に掲載した、生涯学習施設懇談会の「その後」についてお知らせします。

六月二十三日の第二回懇談会では、「図書室を考える会」をテーマとして話し合いがありました。

「まちにこんな特徴のある図書館があったら：」「図書室を拠点にこんな活動を行ってみたい」など、多くの住民に利用される図書室づくりを目指して真剣な討議を深めました。



小出郷文化会館の館長から説明を受けました

最初に図書室の特徴づくりを検討しました。図書等の貸し出しの関係では、十日町情報館を年間約七千人あまりが利用していることから、新しい図書室は

十日町情報館のミニ図書館といったことより、ある程度対象を絞った、特徴づくりをイメージしました。

基本的な利用対象として、児童書や絵本、読み聞かせのコーナーなどを充実させ、十日町広域圏内に無いような子どもに特化した図書室をつくること。また、大人も利用できる雑誌や新聞が読めるラウンジを併設してはといった協議結果となりました。

それと、図書室の配置についても検討されました。その結論は、今春の基本構想報告書で報告のとおり、見晴らしデッキ、図書室、ラウンジを一体的に利用することができる三階に配置することがベストではないかという結果となりました。

最後に図書室の管理、運営方法を検討しました。図書の貸し出しだけといった図書館ではなく、本を手にとって読むきっかけを与え、図書室の管理運営方法を知っている司書の配置と、小さくても質の高い図書室、図書を取り巻く活動を目指した姿勢を貫きたいという方針にまともりました。

七月八日の第三回懇談会では、「ホールを考える会」をテーマとして話し合いがありました。現在の総合センター三階の大ホールは年間約一、五〇〇件、三三、〇〇〇人が利用していま

す。新たに新築するホールも、幅広い年齢層の方々から、さまざまな利用が可能なホールを目指したものを検討しました。

最初は、五点の基本的な機能が、いつでも気軽に集まることのできるホール。
二、小さくつくり、大きく活用できるフレキシブルなホール。
三、大きな広場のような明るい居心地の良い空間。
四、ちよつとオシャレな雰囲気も味わえる空間。

五、高齢者や子どもなど、誰でも安心して利用できる空間。といったことを確認しました。

舞台と客席の関係では、固定した舞台で、客席と段差があること。客席は、電動で稼動する席を設け、最大で二四〇席を設けること。可動席を収納すると平らな床になるホールにすることや、舞台の照明、音響などの関係は、素人でも操作できるような設備の整備を基本とし、詳細な点は専門家にお任せすることが検討されました。

第四回の懇談会は、八月十九日に開かれました。この日は、平成八年にオープンした小出郷文化会館を視察しました。視察の目的は、施設の運営の実態と、ホールの施設、特に可動席の実際を確認しました。視察から帰ってからの、視察の感想を含め、ホール全体についての再検討を行いました。

関連イベント

霧の大地に神々が降り立つ 地上絵ワークショップ開催

雨と霧に包まれたグリーンヴィラ（大地の芸術祭・たほりつこさんの作品／ナカゴグリーンパーク内）では、八月十七日、「異天」と名付けられた地上絵ワークショップが行われました。

「人、水、農、芸、天神」の地上絵（象形文字）に八百万の神々を招き、作品そのものに魂を入れるという、作品と同様に壮大なスケールの催しには、たほさんのほか東京芸術大学の学生や千手小学校二年生の保護者などが神様や妖精に扮して参加しました。

会場では、農作業や昔ながらのぬか釜による炊飯のデモンストラクションも行われ、今と昔、東洋と西洋が織りなす不思議な世界が展開していました。

当初、千手小学校の二年生も、ひもと石を使って地上絵を描く予定でしたが、雨天のため神々と妖精のパフォーマンスを見学することになりました。

その分、霧の中で音と光、そして神々と人の営みが交錯する幻想の世界を堪能できたようです。



日本の神々と西洋風の妖精が織りなす幻想の世界



「農」の世界は人の力が源

8月16日と24日、川西町民を対象にした「大地の芸術祭六市町村ツアー」が行われました。

雨にたたられた夏でしたが、珍しく、両日ともアートめぐりにはもってこいの晴天に恵まれました。「私の日頃の行いがいいから」とは、参加者それぞれの見解とか…。

それはさておき、ツアーでは、「まつだい雪国農耕文化村センター」、「森の学校キヨロロ」（松之山町）、「十日町交流館キナーレ」の各ステージをはじめ、今回新たに

制作された作品を中心に鑑賞しました。

参加した皆さんは、作品そのもののもとより、まわりの風景や環境も合わせて、汗をぬぐいながら五感いっぱい「何か」を感じとっていたようです。



作品の中（公園）でひと休み（中里村）



空家を使ったアートも多くありました

作品鑑賞ツアーで 汗をかきかきアートを体感

大地の芸術祭

瞬間の感動！

「地球軸のパフォーマンス／橘」

八月十日、仁田・野口の転作田で「地球軸のパフォーマンス／橘」が行われました。このイベントは、大地の芸術祭・小本章さんの作品で、南北に幅十八センチ長さ三〇〇メートルの十二色の布を住民が持ち、そのラインに沿って六〇〇メートル上空をセスナ機が白色のラインを空に描きながら飛行し、地上のラインと対比させるというものです。

当日は、橘小学校の児童と保護者、一般参加者、スタッフ等合わせて約三



五〇人が参加しました。参加者は、壮大で感動的なパフォーマンスに包まれながら、去っていくセスナ機に歓声を上げていました。

パフォーマンスに使った布は、参加者がメッセージを書き込んで、橘地区の宝物として大切に保存されます。

今回の催しが橘地区の新しいビジョンづくりにも生かされるといいですね。

地上の線に沿って、上空に飛行機が白い線を描いていきます。見えるかな？

人間らしい顔に出会いました ピンホールカメラ撮影事業



カラー写真とモノクロ写真が絶妙に組み合わせられています

3年前の第1回大地の芸術祭で、巨大なピンホールカメラで6市町村の山間の集落をまわり、集落の皆さん全員の集合写真を撮ったこのプロジェクトは、今回も同じ集落の「3年後の今」を撮るとい形で始まりました。

さらに、新たな集落や「地球軸のパフォーマンス／橘」に参加した皆さんの集合写真に加え、スケッチやドローイングも併せた江頭慎さん（ロンドンAAスクール）の作品が高倉ブナの家展示されました。

静かな環境でこの作品に触れたある見学者は、「みんな生き生きとした表情ですね。この地域が人間らしく生きられる場所なんだと強く感じました」と感想を述べてくれました。

地元アーティストも作品発表 リサイクルの手すきの紙に

八月九日から二十四日まで、知的障害者授産施設なごみの家（十日町市）で、「なごみの家手漉きの紙に寄せる作品展」が開かれました。

これは、なごみの家で製品化している牛乳パックを再利用した手すきの紙を使って制作した、主に地元で創作活動をしている方々の作品を展示したものです。

書や画はもちろん、版画や切り絵、ちぎり絵、写真など、さまざまなジャンルの力作がそろい、平面作品ながら変化に富んだ展覧会となりました。

訪れた人たちも、地元アーティストの作品を熱心に鑑賞していました。



“知り合い”の作品に出会うのもいいものです

今年もにぎやかでした 自然子ども村



竹とんぼ作りで刃物にも慣れた？



イカダ下りはいつも大人気

子どもたちは、キャンプやホームステイなどを行い、食事作りや農作業体験などを通じて、自然とのふれあいを楽しんでいます。

特に洪海川でのイカダ下りでは、大きな石に止まったイカダをたて直したり、イカダからおりて川を泳ぐなど、ふだんできない体験に、にぎやかな声が響いていました。

期間中は、台風が直撃するのではと心配されましたが、子どもたちの元気でどこかへっつ飛ばしてくれました。

八月七日から十一日の五日間、仙田地域を中心とした町内一帯で、第十四回川西町自然子ども村が行われました。

この催しは、町内の児童と都市部の児童の交流を目的として、川西町の自然を生かした体験活動を実施しているものです。

今年は、新潟市や長岡市、上越市などの県内の都市部や東京、神奈川県などの首都圏、町同士の交流がある奈良県川西町などから四五人が参加しました。

熱戦に歓声 !! 十王堂角力大会



「見合って見合って!!」。立合いの緊張感もはや大相撲なみ?

八月十五日、十王堂奉納角力大会が開かれました。

恒例のこの大会には、東善寺を中心とする千手地区の子どもたちが集まり、幼児から小学生まで年代別・男女別に熱戦を繰りひろげました。

あっさり豪快に勝負がつく試合、土俵いっぱい攻防を繰り返す取り組みなど、手に汗握る場面が多く見られ、子どもたちの真剣さに観客も盛んに声援を送りました。

勝負がつくたびに笑いや歓声がわき上がり、会場は夏の暑さとは別の熱気に包まれていました。

6代目のALT（語学指導助手）がジョアンナ・ディヴァインさんに決まり、7月30日に来町しました。

オーストラリアのメルボルン出身で、大学に在籍中の22歳の女性です。

川西町の印象は、「山がきれいな町。そして、川西町のおいしい食べ物に興味があり、祭りにも行ってみたい」と、この地域の文化に興味津々の様子でした。また、皆さんにオーストラリアのことを知ってほしいので、家庭料理等をとおして交流を深めていきたいとのことでした。

今回が3回目の来日で、以前、大阪に10か月間住んでいたことがあり日本語を話せるので、見かけたときは「ジョーさん!」と声をかけてみてはどうですか。きっと、とってもキュートな笑顔で答えてくれますよ。



ALTのジョアンナです

フोटオ散歩



各地で夏まつりが行われま
した。雨にたたられることも
ありましたが、例年の熱気は
失なわれていませんでした。



燃える「みこしの力」(上野諏訪まつり)



雨もなんのその！(小白倉のもみじ引)



なかまの家は「白雪姫ホワイトプロジェクトバージョン」
で2連覇を達成(上野仮装大会)



若い力もみなぎる勇壮な剣の舞(野口諏訪まつり)

だんだんとーも！ ㊥

こへびステーションの巻

「集まる機会を作ってくれて
ありがとう」って言われたとき
には涙が出ました」。

こへびステーション(ナカゴ

グリーンパー

ク)で、大地の

芸術祭を支える

サポート団体

「こへび隊」の

中核として活躍

する鈴木理恵さ

ん(23・筑波大

学四年/写真

左)は、ホワイ

トプロジェクト

のワークショップ

に参加したお

年寄りのことば

に、驚きと感激

が入り混じった

思いがこみあげ

たと言います。

三年前の芸術祭にもこへび隊

として参加した鈴木さんは、前

回とは全く違う地域住民の反応

を素直に喜ぶとともに、ちよっ

とした声かけでみんなが集まる

地域性に興味を持っています。

「前回は『東京の目』で活動し



たためか、「そんなのやっても
意味がない」といわれて涙しま
したが、今回は、『地元の目』
を養おうと二月から活動を始め
ました。その甲斐あってか、人
のつながりの機微に触れたよう
でとても気持ちよく過ごすこと
ができました」と手応えを感じ
たようです。

同じく横浜

市から加わっ

た佐竹幸奈さ

ん(19・フェ

リス女学院/

写真右)は、

「友だちに誘

われて参加し

ました。(裏

方は)やっぱ

り大変ですけ

ど、あとでい

い思い出にな

ると思いま

す」と屈託な

く笑います。

「研究のためにもう少しこの

地域に関わっていたい」という

鈴木さんと、「もっというんな

元気のある人とお話ししてみた

い」という佐竹さん。

反対に、二人から元気をもら

った人がたくさんいた夏だった

ような気がします。

ザ・川西高校 ⑥

本年度から新学習指導要領がスタートし、高等学校でも総合的な学習の時間が設けられました。川西高校では、一年生で基礎学力の向上、地域探訪、そば打ち体験、救急法実技講習、講演会等を総合的な学習の時間として実施を予定しています。

夏休み中の七月三〇日を登校日としてそばの種まき、救急法の実技講習を、伊友生産組合様、十日町地域消防署西分署様のご指導により計画していました。が、天候の関係でそばの種まきができず、救急法の実技講習を



一年生全員で受講しました。ダミー人形を使つての本格的な救急法を熱心に指導していただき、人の生命に関することなので、生徒も真剣に取り組んでいました。

同じ七月三〇日、二年生はものづくり体験活動として陶芸、草木染にチャレンジしました。

陶芸は川西町教育委員会様のご協力により、草木染は星名正幸様を中心とする講師の皆様のご指導により実施しました。初めて体験する生徒ばかりでしたが、丁寧なご指導によって、なんとか形になってきました。

もっと積極的に「休養」しましょう

あなたは健康のために何をしていますか？多分、「食事に気をつけている」、「運動をしている」と言う

方が多いのではないのでしょうか。健康づくりの三つの柱「運動・栄養・休養」と言いますが、なかなか一生懸命休養している人は少ないようです。働きの多い川西町では、「休む」という言葉は「怠ける・遊んでいる」というイメージにもつながり、休まず頑張る人が多いのかも知れません。

しかし、休養は人間にとってとても重要なもので、不足すると身体的にも精神的にも悪影響を及ぼします。具体的には、血圧が上がったり、糖尿病や心臓病が悪化したり、脳卒中も発症しやすくなります。精神的にもストレスへの抵抗力が落ちたり、仕事に集中できない、ミスが多くなる等のトラブルが起きることもあります。休養も健康づくりの柱として、意識的に取

つていきたいものです。休養の一番はやはり「睡眠」。

日頃、睡眠不足を感じている人は二割以上という調査結果があります。また、睡眠薬や安定剤を服用している人は一〜二割とのこと。特に、高齢者では、不眠を訴える人が多いようです。

快適な睡眠時間は年齢により異なり、一〇代では九時間前後、二〇代〜五〇代では七時間前後、六〇代以上では六時間弱です。睡眠時間が多少短くても、熟睡感があり、日中の仕事に支障がなければ心配はありませんが、寝つきが悪かったり、途中で目が覚め寝付けない、熟睡感がない等は睡眠障害が疑われますので専門医の診察をお勧めします。

自分でも快適な睡眠のためにできることがあります。入浴は温めなお湯でゆったりと入ります。緑茶やコーヒーは寝る前四〜五時

間は飲まない。また、無理に寝ようとせず、好きな音楽や本を見たりして、眠くなるのを待つことも一法。寝酒はかえって途中で目が覚める原因になったり、睡眠薬と併用すると副作用が出る場合がありますので注意が必要です。

一方、昼寝も三〇分くらいは疲労回復に効果があります。ただし、寝過ぎは禁物。その他、適度な運動、趣味、旅行、温泉、友人とのおしゃべり等自分がリラックスでき楽しいと感じるものを生活に取り入れ、積極的に身体と心の休養を取っていきましょう。



善意

(敬称略)

福祉に
渡 辺 春 吉 (十日町市) 一千万円
小 幡 久 夫 (木落) 十萬円
平 野 貞 雄 (四郎兼) 十萬円
渡 辺 正 範 (上野) 十萬円
数 藤 剛 (沖立) 十萬円
柄 沢 敏 雄 (沖立) 十萬円

うぶ声—おすこやかに
柄 澤 光 (ひかる) 大輔 沖立
若 山 和 真 (かずま) 英夫 新町新田
吉 樂 采 士 (さいと) 尚生 中央町
安 田 環 (たまき) 建 陽 橋 教員住宅
上 村 彩 (あや) 美 浩 上野
庭 野 莉 帆 (りほ) 智 史 みのり団地

戸籍の窓から

昇天—ごめい福を祈る

渡 辺 正 範 (正) 上野
平 野 卓 臣 (貞) 四郎兼
米 山 一 郎 (春) 室 島
清 水 直 子 (正) 昭 吾
小 坂 武 吾 (武) 赤 谷
登 坂 吉 武 (本) 小 根 岸
小 海 正 吉 (本) 上 野
若 山 彦 三 郎 (俊) 野
清 水 ト ク (本) 人 十日町市

高砂—ご円満に
小 川 智 和 赤 谷
村 上 久 美 子 見 附 市
(8月1日~31日届け出順)



かわし俳壇

水番の出る幕も無く雨続く
台風の大事にならず過ぎゆけり
高崎正風選

十センチ一夜に太る胡瓜かな
霜条 星名 星光
残暑とて喜び耐える農夫かな
冷夏ゆえ暑中見舞いを出しそびれ
更けてより雨の上がりぬ盆踊
岩瀬 登坂伊智子
虫鳴いて庭の大きな百姓家
三十戸眠り更けつつ虫しぐれ
二組の嫁の来し里天高し
小白倉 田中 優美
健康の老いをいとしみ夕涼み
出郷の記憶は今も天高し
練馬区 須藤 遊人
段丘に大河の風や諸太る
段丘や団地の庭に芋の畑
上町 高橋 願似
庭石にしみじみ秋の声聞けり
カーテンの揺れて菊の香部屋に入る
田中町 石澤 澄代
自転車の孫追いかけて残暑かな
終戦日孫九歳の誕生日
野口 村越 由喜
用水の底見えはじめ土用かな
何か居てホタル袋の蜜を採る
野口 高橋 波京
枝豆を夕餉の卓に茹で上げて
野口 高橋 波京

大根種水に浸して蒔きにけり
大倉 中條 石平
桶底の豆腐の動く炎暑かな
歌麿の笑みを隠せる団扇かな
新町新田 若山 向山
暑くても体の為と曇巡る
茗荷取る手許に蟻の道があり
八王子市 松浦 サク
涼風が道連れとなる切り通し
夏草の径ここまでや野の地蔵
足立区 涌井ハル子
梅雨明くや炎の如き庭の花
盆の客田舎料理に母偲ぶ
霜條 蔵品ハツエ
虫食いの柿のころがる畠かな
遠山も晴れて鳴子のひびきかな
元町 田畑 吉治
冷夏とて全て不作となりけり
白雲のなびき夏山青く見ゆ
高原田 須藤 キミ
人の田を通してもらひ沢田掻く
散る花や夜間工事の男たち
中屋敷 金子 鉄平
朝顔やラジオ体操元氣よく
ひまわりの実りて子等は登校す
小白倉 江口みゆき

休日救急医

9月21日 小林内科医院
(十日町市中条中町)
☎ 52-7155
" 津南病院
(津南町大割野)
☎ 65-3161
23日 池田医院
(十日町市本町西1)
☎ 52-2581
28日 富田医院
(川西町発電所通西)
☎ 61-0200
" 上村病院
(中里村田沢)
☎ 63-2111
10月5日 せき整形外科
(十日町市四日町第2)
☎ 50-1155
" 津南病院
(津南町大割野)
☎ 65-3161
12日 本町クリニック
(十日町市本町3丁目)
☎ 50-1160

表紙の写真

天神ばやしワールド2「天神ばやしかわにし Gottaku!!」に出演した皆さん。歌と舞を終え、解放感・達成感に満ちあふれています。練習を重ねた分だけ感動も大きい瞬間です。

クイズです???

「天神ばやし」の伝承地域で、北限といわれているのはどこでしょうか?
ヒント：本紙をよく読んでください。

おわかりの方は、はがきに「解答」「住所」「氏名」「電話番号」を明記のうえ、〒948-0192 川西町役場総務課文書広報係までご応募ください。

正解の方に(多数の場合抽選で)ステキなプレゼントをいたします。

●締め切り…8月22日(金)

<8月号の答え>
約12,000枚

正解者は、次の方々です。皆さんには記念品をプレゼントします。(敬称略)

南雲洋(横浜市)、尾身悦子(十日町市)、上村マサ(上野)、竹口幸(上野)、中島キイ(下平新田)、村越由喜(野口)、佐藤信一(小脇)



「ふしぎなくにの 花たち」
2年生 高橋摩衣さん



「どうぶつ だいすき」
1年生 柳 紗知さん



「かいじゅう」
4年生 高橋昂希くん



「野球の練習」
3年生 川崎龍一くん

(10月号は橘小学校です)



「湖と緑を大切にしよう」
6年生 井川理恵さん



「私のカレンダー」
5年生 入沢真弥さん

小雨まじりの日、植え込みで羽化するアブラゼミがいた。じっと羽根が硬化するのを待っている姿は、求道者の修行のようにも見える。
一時間後雨は上がり、抜け殻だけが残っていた。明るいきざしもある。



● 雨の多い夏だった。農作物への影響も深刻だったが、昆虫たちにも受難の年だったようだ。
特に、夏を謳歌するせみの鳴き声があまり聞かれなかったことがそのことを象徴している。
数年間も地中で過ごし、夏のひとときを思いっきり生き抜いて一生を終えるせみにとって、「地上に出たら毎日雨だった」のでは、とても「謳歌」というわけにはいかなかっただろう。

● 5月19日

